

2011年7月15日
野村不動産アーバンネット株式会社

報道関係者各位

不動産情報サイト「ノムコム」
住宅購入に関する意識調査(第1回)を実施
震災後の住宅購入意欲について7割以上が「変化はない」と回答
～ 東日本大震災から4カ月、住宅購入検討者の意識について調査を実施 ～

野村不動産アーバンネット株式会社(本社所在地:東京都新宿区 代表者:取締役社長 金畑 長喜)は、2011年7月1日(金)～7月7日(木)、不動産情報サイト「ノムコム」(<http://www.nomu.com/>)の会員を対象とした「住宅購入に関する意識調査(第1回)」を実施いたしました。この度、調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

本アンケート結果につきましては、不動産情報サイト「ノムコム」でご覧いただけます。

<http://www.nomu.com/research/index.html>

【調査概要】

調査時期：2011年7月1日(金)～7月7日(木)

調査対象：不動産情報サイト「ノムコム」会員約147,390人のうち、ノムコムPC会員約109,120人(2011/7/7時点)
※「ノムコム」会員とは購入検討者を中心としたWeb会員組織

有効回答数：2,119人

調査方法：インターネット上でのアンケート回答

【調査結果のポイント】

■震災後の住宅購入意欲について「特に変化はない」が7割以上

- ・住宅購入意欲について、震災の影響により「特に変化はない」が74.2%、「変化があった」が25.8%。住宅購入に対する意欲の底堅さを裏付ける結果となった。
- ・「変化があった」と回答した方のうち、「購入意向はあるが、しばらく様子見」の回答が64.1%と最も多く、「購入を見送ることにした」は12.8%となった。逆に、「積極的に探すようになった」は10.1%となった。

■住宅購入の際に重視するようになったことは、「地盤」と「建物構造(耐震性など)」

- ・震災の影響により、重視するようになった希望条件は、「地盤」84.5%、「建物構造(耐震性など)」77.4%が多数を占め、「防災対策の充実」32.9%、「交通アクセス(通勤・通学時間等)」32.7%が続く。震災後、安全・安心を重視する傾向が強くなっている。
- また、「エコ設備(LED電球、断熱サッシ等)」も26.5%と高く、節電意識の高まりが反映されている。

■約半数が「不動産は買い時」と回答。理由は、「低金利」、「割安感」、「消費税引き上げ予測」など

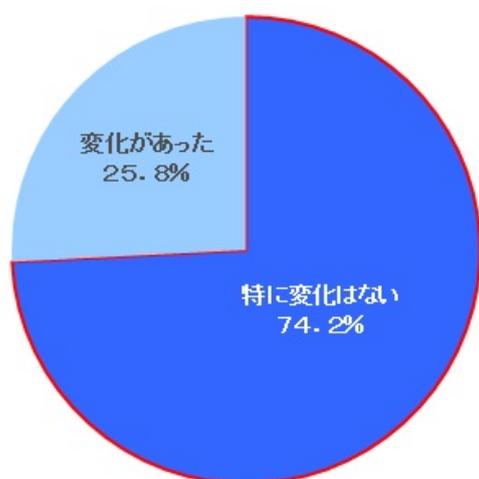
- ・不動産について、「買い時だと思う」「どちらかと言えば買い時だと思う」を合わせ47.6%が購入タイミングに肯定的な回答。特に、男性では50.7%が買い時と回答しており、女性の41.6%に比べて高い傾向を示している。
- 一方、「買い時とは思わない」との回答は23.7%に留まった。
- ・買い時と判断する理由については、「住宅ローン金利が低水準」が最も多く66.8%、「物件価格が落ち着いている(割安感がある)」50.9%、「今後、消費税が引き上げられる可能性がある」43.8%と続く。
- ・買い時だと思わない回答者への「どうなれば買い時になると思うか」という設問に対しては、「景気や社会情勢が落ち着いたら」の回答が50.1%と最も多い結果に。
- ・今後の不動産価格については、「上がると思う」が14.8%、「横ばいで推移すると思う」が最多の45.2%、「下がると思う」が25.2%となった。

【調査結果概要】

① 震災による住宅購入意欲の変化について

- ・住宅購入意欲について、震災の影響により「特に変化はない」が74.2%、「変化があった」が25.8%。東日本大震災より4カ月、社会情勢の不透明感が残る中、住宅購入に対する意欲の底堅さを裏付ける結果となった。
- ・「変化があった」回答者の内訳は、「購入意向はあるが、しばらく様子見」の回答が64.1%と最も多く、その理由としては「景気や原発問題などの情勢を見極めたい」という意見があった。他の回答では、「積極的に探すようになった」が10.1%、「購入を見送ることにした」が12.8%という結果に。

図1◆震災の影響により、住宅購入の意欲に変化はありましたか？

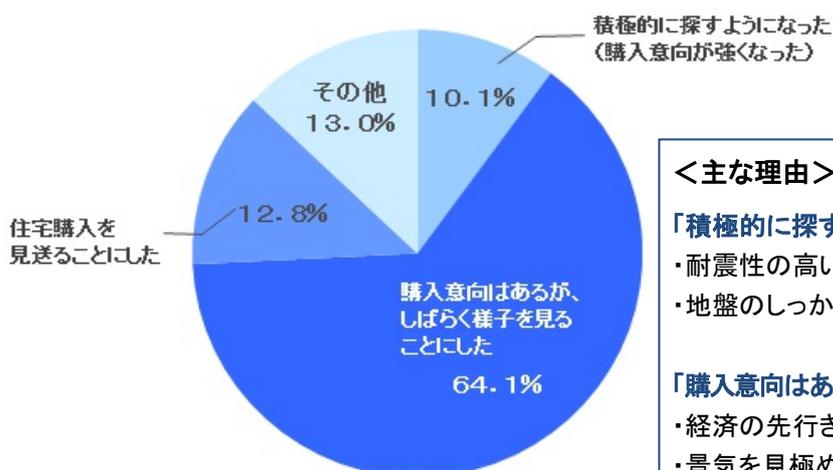


住宅購入意欲に、特に変化はない

74.2%

⇒「変化があった」と回答した方(25.8%)に対して

図2◆住宅購入の意欲にどのような変化がありましたか？



＜主な理由＞ ※一部抜粋

「積極的に探すようになった」の回答理由

- ・耐震性の高い家に住みたいため
- ・地盤のしっかりしたところに住みたい

「購入意向はあるが、しばらく様子を見ることにした」の回答理由

- ・経済の先行きが不安なため
- ・景気を見極める必要があると思ったから
- ・福島原発が落ち着かないと先が見えない

「住宅購入を見送ることにした」の回答理由

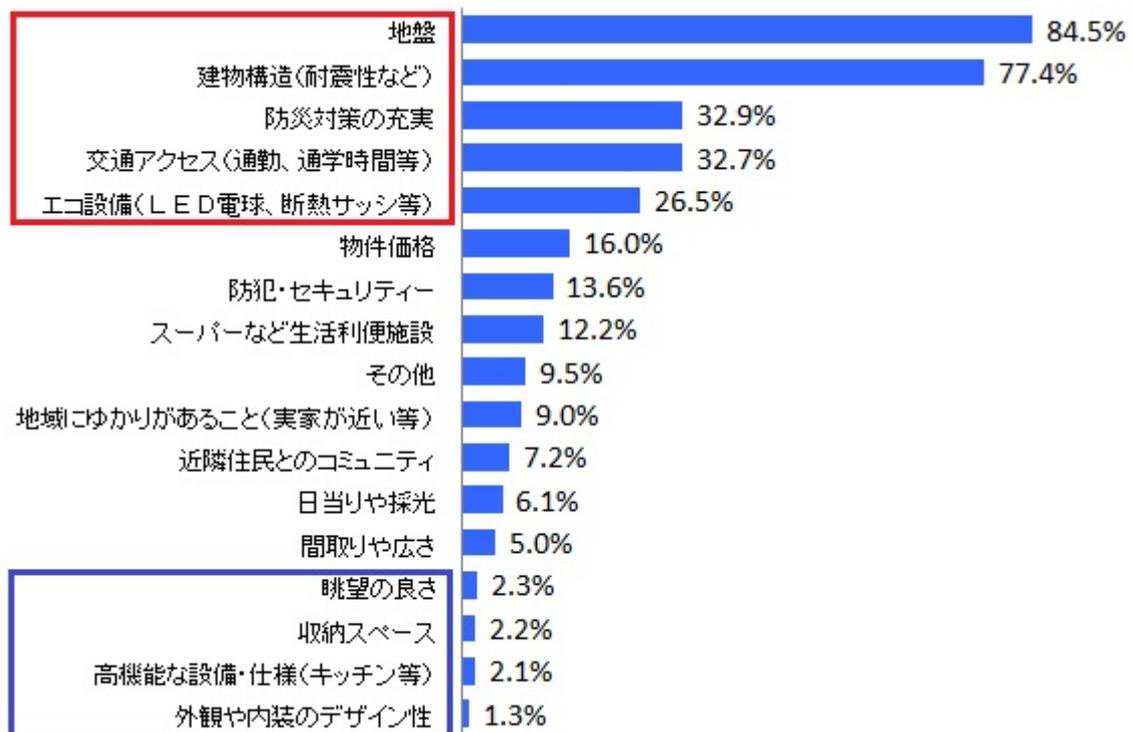
- ・いつ大地震が起きるかわからない中、購入するのはリスクがあるため

・震災の影響により、重視するようになった希望条件は、「地盤」84.5%、「建物構造(耐震性など)」77.4%が多数を占めており、「防災対策の充実」32.9%、「交通アクセス(通勤・通学時間等)」32.7%が続く。住まいに対して、安全・安心を重視する傾向が強くなっていると言える。

また、「エコ設備(LED電球、断熱サッシ等)」も26.5%と高く、節電意識の高まりが反映されている。

・逆に、回答が少なかったものは「外観・室内のデザイン」「設備・仕様(キッチンなど)」「眺望の良さ」など住宅の付加価値的な条件が並ぶ。

図3◆震災の影響により、住宅購入の際に重視するようになった希望条件は何ですか？



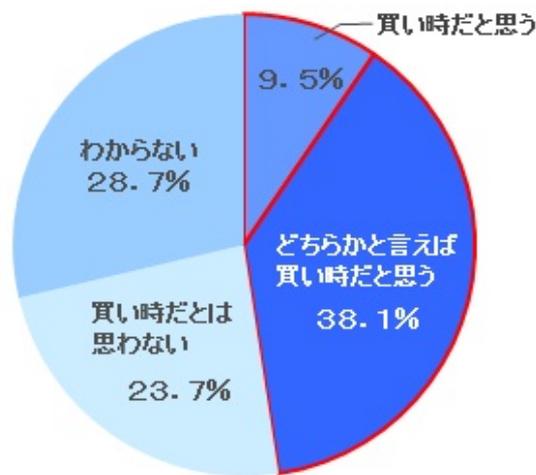
<重視するようになった希望条件>

地盤	84.5%
建物構造(耐震性など)	77.4%
防災対策の充実	32.9%
交通アクセス	32.7%

② 不動産の買い時感について

- ・不動産について、「買い時だと思う」「どちらかと言えば買い時だと思う」を合わせた 47.6%が購入タイミングに肯定的な回答。特に、男性では 50.7%が買い時と回答しており、女性の 41.6%に比べて高い傾向を示している。一方、「買い時とは思わない」との回答は 23.7%に留まった。
- ・買い時と判断する理由については、「住宅ローン金利が低水準」が最も多く66.8%、「物件価格が落ち着いている(割安感がある)」50.9%、「今後、消費税が引き上げられる可能性がある」43.8%と続く。
- ・買い時だと思わない回答者への「どうなれば買い時になると思うか」という設問に対しては、「景気や社会情勢が落ち着いたら」の回答が 50.1%と最も多い結果に。個人的な問題より、社会全体の不透明感や漠然とした将来不安の解消がマインド回復に繋がると推測される。

図4◆今、不動産は買い時だと思いますか？

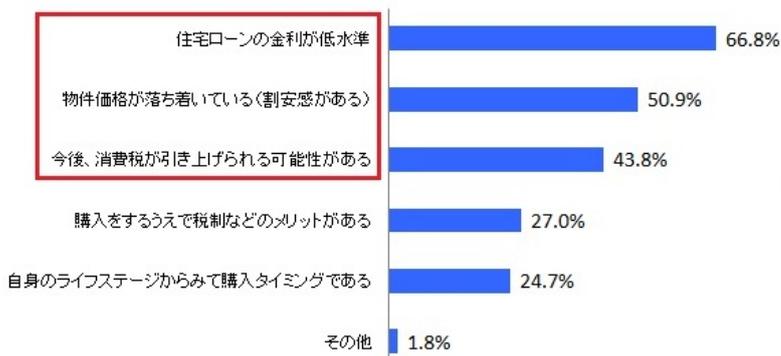


不動産は買い時だと思う

※「どちらかと言えば買い時だと思う」を含む

47.6%

⇒「買い時だと思う」と回答した方(47.6%)に対して
図5◆買い時だと思う理由は何ですか？



住宅ローンの金利が低水準 **66.8%**

物件価格が落ち着いている **50.9%**

消費税が引き上げの可能性 **43.8%**

⇒「買い時だと思わない」と回答した方(23.7%)に対して
図6◆どうすれば買い時になると思いますか？



景気や社会情勢が落ち着いたら

50.1%

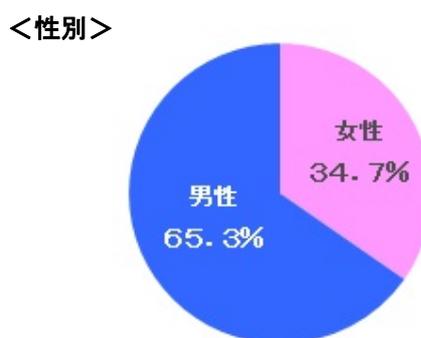
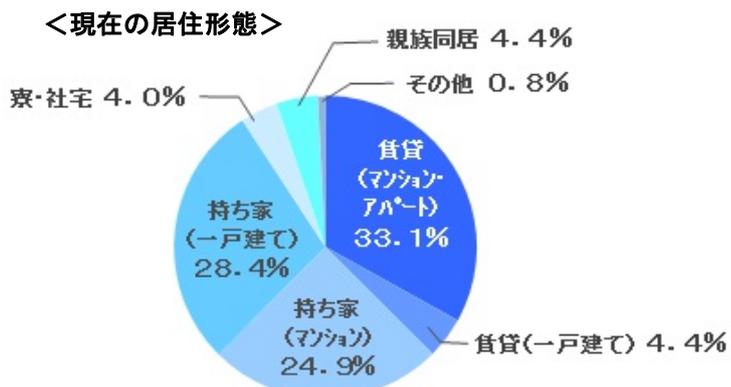
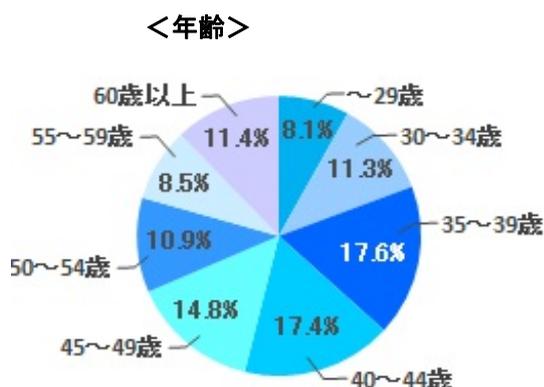
・今後の不動産価格については、「上がると思う」が14.8%、「横ばいで推移すると思う」が最多の45.2%、「下がると思う」が25.2%という結果に。
 不動産価格は安定した状況が続くと予測から、前設問での購入タイミングに肯定的な回答に繋がっていると推測される。

図7◆今後、不動産の価格はどうなると思いますか？



不動産価格は横ばいで推移すると思う
45.2%

③ 回答者のプロフィール



不動産情報サイト「ノムコム」では、今回の調査結果を参考に、住宅購入ニーズに応えたコンテンツを充実させ、更なるサービス向上を目指してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ窓口
 野村不動産アーバンネット株式会社 経営企画室(長谷川・尾山)
 TEL03-3345-7779・FAX03-3345-8273